

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 言語障害通級指導教室運営経費
-------------------	-----------------------------

区分	番号	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	3	教育環境の充実
主要な施策	3	特別支援教育体制づくり
事務事業番号	006	事務事業コード 52233006 事業開始年度 昭和 5 9 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	言語障害通級指導教室運営経費
------	------	------------	----------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 言語障がい児教育の充実・伸展を図るため、ことばの教室を開設し、言語教育環境を整える。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 言語治療を必要とする幼児・児童を対象に、ことばの教室を幌別小学校内に開設している。 対象幼児数 ~ 38名 対象児童数 ~ 60名 指導時間 ~ 週当たり1時間児童 58、週当たり2時間児童 1名、 週当たり3時間児童 1名
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 個々の状況や特性に応じた個別指導を充実し自立心を養う。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標		人	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	55				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	209	165	165	165	165	495
合 計				209	165	165	165	165	495
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	0	0			
			嘱 託 員	千円	4,502	4,855			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		4,502	4,855			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 本事業は、障がいに応じた特別の指導を行なう必要がある児童等に対し行なわれており、市が事業を実施することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 個別に指導を行なうため、一人ひとりに適した指導が行なえる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 家庭・学級担任（小学校・幼稚園・保育所）、その他関連機関との連携をより一層深め、言語障がい児教育への理解を進める。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 研修費用等、必要最低限の経費で事業を実施しており、これ以上の削減は事業の実施自体に影響を与える。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	個別指導を通して、自立心を養う重要な事業である。
-----------	----------------------	--------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）